

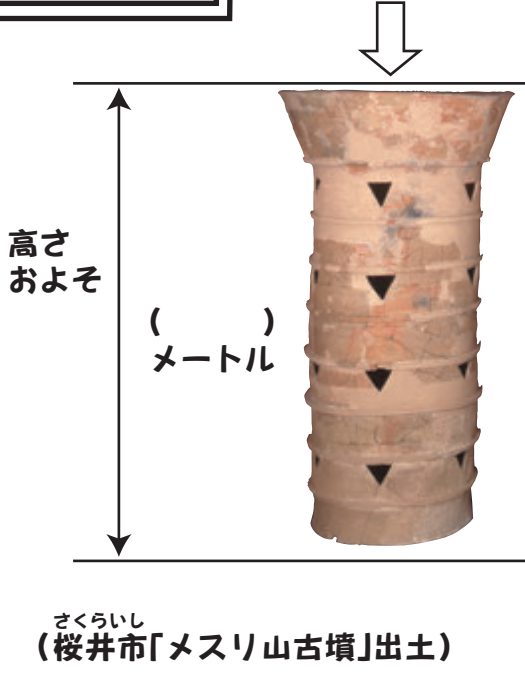
はにわ 「埴輪」について調べよう

「埴輪」は、粘土ねんどを焼いて作った土器で、古墳の上にならべられました。「埴輪」には大きく分けて、円い筒のような形をしたもの(円筒埴輪えんとう)と、人間・動物・家・さまざまな道具などの形をしたもの(形象埴輪けいしょう)の2種類があります。

えんとう 円筒埴輪

この博物館にある日本最大の「円筒はにわ」

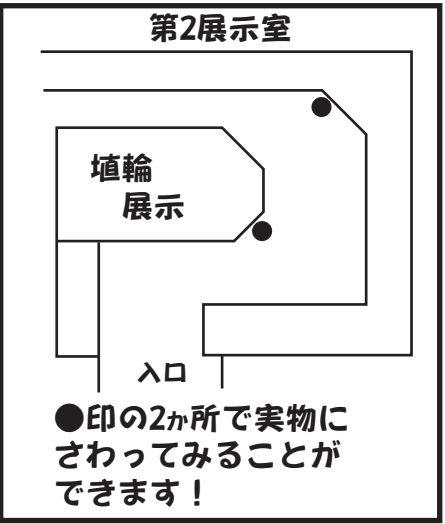
今からおよそ1700年前のものです。



「円筒はにわ」の役割は何でしょう。
どうして、こんな大きなものを作ったのでしょうか。

「円筒埴輪」にさわってみよう！
あなたがさわったのは、およそ1500年前の「円筒埴輪」の破片です。さわってみた感想を書きましょう。

.....
.....
.....
.....
.....
.....



けいしょう

形象埴輪

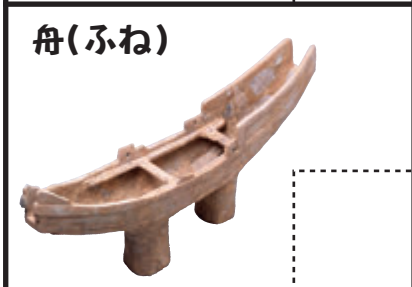


いえがた
「家形埴輪」をひとつ選んで、スケッチしましょう。

3-2

たてあなじゅうぎょ
「**竪穴住居**」と比べて、どんなところが違っていますか。
ちが

次の「形象埴輪」を「第2展示室」で探して、見つけたものには○をつけましょう。



さまざまな「形象埴輪」からわかる、当時のようすをまとめましょう。

☆「埴輪」についてもっと知りたい人は「映像(ビデオ)ライブラリー」にも行ってみよう!

「時代」→「古墳時代」→「はにわの動物たち」の順番に画面にタッチ